

2025

会 告

No.11

◇通知・案内事項

○2025年度化学工学会資格制度案内 4号5ページ

◇本部・支部大会行事の開催予定

	(2025)	(2026)
◇年会		3/17～19(京都大学)
◇秋季大会		
◇支部大会(吹田大会 主催：関西支部、共催：中国・四国支部)		
	11/11～12(関西大学吹田キャンパス)	
	(3支部(関東、東北、北海道)合同大会) 11/13～14(八戸グランドホテル)	
◇学生発表会		3/7(オンライン)

◇本部・各支部・部会行事 (「ゴシック」は新規掲載分および修正分)

行事プログラムの掲載は1回限りです。既載行事はカレンダー会告ページ(または各支部ホームページ)をご参照下さい。

開催年月日	行	事	申込締切	会 告 ページ
2025年11月 November				
5	第38回化学工学研究会「プロセス産業におけるDX(デジタルトランスフォーメーション)の最前線」(山口県)		10月27日(月)	10号8
5	第33回イブニングセミナー「生成AI活用の最前線」(11/5)(東京都・ハイブリッド開催)		10月30日(木)	10号8
6	web安全講演会(事故調査のあり方がテーマ)		10月31日(金)	8号15
6～7	粉体技術者養成講座 第4回【粒子加工】(11/6-7)(兵庫県)			6号11
7	「バッチ操作を伴うプロセス設計」講座(11/7)(東京都)		10月13日(月)	4号14
10～11	「プロセス設計」講座 ハイドロリックの設計 編(11/10-11)(千葉県)		10月10日(金)	7号9
11～12	合同支部大会「吹田大会2025」(11/11-12)(大阪府)			9号13
12	～第1回化学技術者のための産学官フォーラム～「CCUSをめぐる最近の政策動向と技術開発の方向性」(東京都)(オンライン)		11月7日(金)	本号10
12～13	粉体技術者養成講座 第5回【粉砕】(11/12-13)(東京都)			6号11
13～14	化学工学会八戸大会2025(3支部合同大会)		9月5日(金)	8号11
13～14	「ガス分離膜・浸透気化膜分離プロセス及び膜反応器の設計」講座(11/13-14)(東京都)		11月5日(水)	4号14
19～21	「プラント計装制御-1」講座(11/19-21)(東京都)		11月11日(火)	7号9
21	中国地区化学工学懇話会 2025年度 セミナー「GXの最前線：基盤技術の進展とその社会実装」		11月6日(木)	本号12
21～22	第42回プラントオペレーションに関する現場監督者セミナー(11/21-22)(兵庫県)		10月24日(金)	9号13
25～12/10	「プロセス設計」講座 塔・槽、熱交換器の設計 編(11/25, 26, 12/9, 10)(オンライン)		11月17日(月)	7号10
26	2025年度 開発型企業の会 第3回技術交流会・見学会(愛知県)		11月17日(月)	本号11
28	第70回関東技術サロン講演会「産学連携の採点簿(失敗8, 成功2)私の40年間での事例紹介」(11/28)(東京都・ハイブリッド開催)		11月20日(木)	10号8
28	第71回プロセス設計技術講演会・見学会ならびに第59回ケミカルエンジニアリング交流会		11月10日(月)	本号11
28～29	第51回経営ゼミナール「シン・社会へのリジェネレーションを起こせ！～自らを変え、組織を変革する～」幕張セッション(11/28-29)(千葉県)		6月30日(月)	6号9
28～29	第10回ソフトマター工学分科会講演会(11/28-29)(京都府)		10月28日(火)	9号14
2025年12月 December				
1	シンポジウム「生成AI／ポスト5G時代の冷却戦略 ～サーマル技術が支える未来の情報社会～」(東京都・オンライン)		11月24日(月)	本号13
3～5	「P&IDの作り方」講座(12/3-5)(東京都)		11月25日(火)	7号10
4	開発型企業連携研究会セミナー＆ミキサー(大阪府)		11月17日(月)	本号12

13	「化学工学技士」試験(東京都, 大阪府)	11月15日(土)	9号11
15～16	粉体技術者養成講座 第6回【集じん】(12/15-16)(愛知県)		6号11
20	第16回 福島地区CEセミナー	12月12日(金)	本号11
2026年1月 January			
22～23	「プラント計装制御－2」講座(1/22-23)(東京都)	1月14日(水)	4号14
26～28	「反応器の設計」講座(1/26-28)(東京都)	1月19日(月)	7号11
29～30	「プロセス設計」講座 化工物性, 蒸留計算 編(1/29-30)(オンライン)	1月21日(水)	9号12
2026年3月 March			
7	第28回化学工学会学生発表会(オンライン)		本号10
17～19	第91年会(京都府)		本号7

◇国際交流行事

会 期	行 事 名	申込締切	会告ページ
12月6～7日	The 36th International Symposium on Chemical Engineering (第36回化学工学に関する国際シンポジウム)(ISChE2025)(12/6-7)(公州, 韓国)	7月31日(木)	6号15

◇共 催・協 賛 行 事(本カレンダーのみのご案内です。詳細は各問合せ先へ直接ご照会下さい。「ゴシック」は新規掲載分)

行 事(場 所)	開催期日	問合せ先	電話番号(FAX) E-mail, URL
技術英語能力検定(令和七年度)(東京都)	4月1日～ 2026年3月31日 (火～火)	一般社団法人日本 能率協会	080-3460-2442 jstc@jma.or.jp https://jstc.jma.or.jp/
第20回エレクトロヒートシンポジウム<WEB開催>(オンライン)	10月20日～ 11月30日(月～日)	一般社団法人 日本 エレクトロヒート センター	03-5642-1733 (03-5642-1734) iso@jeh-center.org https://www.jeh-center.org/20thEHsympo.html
第257・258回西山記念技術講座「カーボンニュートラル社会実現のためのエネルギー材料における科学基盤と開発最前線」(大阪府(対面開催), 東京都(ハイブリッド開催))	10月27日～ 11月17日(月～月)	日本鉄鋼協会	03-3669-5933 (03-3669-5934) educact@isij.or.jp https://www.isij.or.jp/event/event2025/nishiyama257.html (5月頃掲載予定)
分離技術会 年会 2025(東京都)	10月31日～11月1日 (金～土)	分離技術会	044-874-0337 (044-874-0338) jimu@sspej.gr.jp https://mtg.sspej.org/
第80回表面科学基礎講座「表面・界面分析の基礎と応用」(オンライン)	11月1～30日 (土～日)	日本表面真空学会	03-3812-0266 (03-3812-2897) office@jvss.jp https://www.jvss.jp/ja/activities/04/detail/00025.html
第40回国際P2M学会研究発表大会(千葉県)	11月2日(日)	国際P2M学会	047-478-0336 hideto.ogasawara@p.chibakoudai.jp http://www.iap2m.org/pdf/IAP2M_2025_autumn_CFP_v1.pdf
IIIAE2025 (International Institute of Innovative Acoustic Emission & 27th International Acoustic Emission Symposium (IAES-27))(愛知県)	11月4～7日 (火～金)	日本非破壊検査協 会	03-5609-4015 (03-5609-4061) yasoshima@jsndi.or.jp https://sciences.jsndi.jp/acoustic/
IIIAE2025(愛知県)	11月4～7日 (火～金)	日本非破壊検査協 会	03-5609-4015 (03-5609-4061) yasoshima@jsndi.or.jp https://2025.iiiae.org/

第63回燃焼シンポジウム(神奈川県)	11月5～7日 (水～金)	一般社団法人 日本 燃焼学会	06-4400-8143 office-combustionsociety@kbinfo.co.jp http://www.combustionsociety.jp/sympo63/
ナノ材料の総合分析講習(大阪府)	11月6～7日 (木～金)	近畿化学協会 触媒・表面部会	06-6441-5531 (06-6443-6685) catal@kinka.or.jp https://kinka.or.jp/catalytic/#nyumon2024
No. 25-115 講習会「プラントの熱流体力学—混相流・配管流れ・安全設計—」(オンライン)	11月7日(金)	日本機械学会	03-4335-7611 kaneko@jsme.or.jp https://www.jsme.or.jp/event/25-115/
日本コンピュータ化学会2025年秋季年会(岐阜県)	11月7～8日 (金～土)	日本コンピュータ化学会	058-293-2575 udagawa.taro.fl@f.gifu-u.ac.jp https://sites.google.com/view/sccj2025au/top
第16回マイクロ・ナノ工学シンポジウム(栃木県)	11月10～13日 (月～木)	日本機械学会	03-4335-7614 mmm2025@jsme.or.jp https://www.jsme.or.jp/conference/mmm2025/
第33回 秋季大会 成形加工シンポジウム'25(愛知県)	11月11～12日 (火～水)	プラスチック成形加工学会	03-5436-3822 office@jspp.or.jp https://www.jspp.or.jp/
第38回日本吸着学会研究発表会(大分県)	11月12～13日 (水～木)	日本吸着学会	097-554-7896 adsorption2025@oita-u.ac.jp https://www.j-ad.org/annual-meeting38/
第15回イオン液体討論会(千葉県)	11月12～14日 (水～金)	イオン液体研究会	090-6494-3605 ionicliquidoffice@ilra.jp https://www.ilra.jp/15th_jsil/index.html
EcoDesign2025国際会議(14th International Symposium on Environmentally Conscious Design and Inverse Manufacturing)(東京都)	11月12～14日 (水～金)	エコデザイン学会連合	03-5286-2147 ecodesign2025_secretariat@ecodenet.com https://ecodenet.com/ed2025/
第46回ドライプロセス国際シンポジウム(DPS2025)(愛媛県)	11月13～14日 (木～金)	ドライプロセス国際シンポジウム組織委員会	070-5268-6664 dps2025@officepolaris.co.jp https://www.dry-process.org/2025/
No.25-141 特別講演会 第30回リーダーのあるべき姿を考える技術者倫理セミナー(オンライン)	11月15日(土)	一般社団法人日本機械学会 技術と社会部門	03-4335-7614 ohashi@jsme.or.jp https://www.jsme.or.jp/event/25-141/
ニューメンブレンテクノロジー・シンポジウム2025(東京都)	11月17～19日 (月～水)	日本膜学会	nmts@amst.gr.jp http://www.amst.gr.jp/
日本エネルギー学会『第13回アジアバイオマス科学会議』(青森県)	11月18日(火)	一般社団法人日本エネルギー学会	03-3834-6456 acbs2025@jie.or.jp https://www.jie.or.jp/publics/index/1046/
第51回腐食防食入門講習会(東京都)	11月18～19日 (火～水)	公益社団法人 腐食防食学会	03-3815-1161 (03-3815-1291) ysm.hng-113-0033@jcorr.or.jp https://www.jcorr.or.jp/yotei/51.html
第21回バイオマス科学会議(青森県)	11月19～21日 (水～金)	(一社)日本エネルギー学会	03-3834-6456 (03-3834-6458) tsunasawa_jie1921@jie.or.jp https://www.jie.or.jp/publics/index/1036/
高分子材料の耐久性および環境対応に関する講習会(オンライン)	11月19日(水)	公益社団法人日本材料学会	075-761-5321 (075-761-5325) jimui@office.jsms.jp https://www.jsms.jp

海水資源・環境セミナー2025(千葉県)	11月20日(木)	日本海水学会 海水資源・環境研究会	0465-47-3161 (0465-48-6242) shigen@swsj.org https://swsj.org/2025/08/19/seminar-on-marine-resources-and-environment-2025/
酵素工学会第94回講演会(東京都)	11月21日(金)	酵素工学会	075-753-6462 (075-753-6462) enzyme.engjsee@gmail.com https://www.jsee94.enzyme-eng.com
第39回分子シミュレーション討論会(島根県)	11月24～26日(月～水)	分子シミュレーション学会	06-6368-1121(5668) sympo-mssj39@mol-sim.jp https://sympo.mol-sim.jp/mssj39/
KISTEC教育講座「微生物発電が導く未来へのサステナブル・バイオテクノロジー」(神奈川県)	11月25日(火)	神奈川県立産業技術総合研究所	044-819-2033 (044-819-2097) manabi@kistec.jp https://www.kistec.jp/learn/microorganism/
2025年度JCOM若手シンポジウム(香川県)	11月25～26日(火～水)	公益社団法人日本材料学会	075-761-5321 (075-761-5325) jimu@office.jsms.jp https://www.jsms.jp
HPIオンライン技術セミナー「水素技術基礎講座－安全な機器運用のために－」(オンライン)	11月26日(水)	(一社)日本高圧力技術協会	03-3516-2270 tanaka@hpij.org https://www.hpij.org/plugin/databases/detail/19/43/3#frame-43
第76回白石記念講座「鉄鋼業への貢献が期待されるCCUS技術(1) -CO ₂ 分離回収・炭素循環技術－」(東京都(ハイブリッド開催))	11月26日(水)	日本鉄鋼協会	03-3669-5933 (03-3669-5934) educact@isij.or.jp https://www.isij.or.jp/event/event2025/shiraishi76.html
第14回潜熱工学シンポジウム(東京都)	11月26～27日(水～木)	日本潜熱工学会	0294-38-5044 (0294-38-5047) terumi.inagaki.mech@vc.ibaraki.ac.jp https://www.mech.ibaraki.ac.jp/~hotaru/latentheat/
第52回炭素材料学会年会(長野県)	11月26～28日(水～金)	炭素材料学会	03-6824-9365 tanso-desk@conf.bunken.co.jp https://www.tanso.org/contents/event/conf2025/
日本膜学会「膜シンポジウム2025」(大阪府)	11月27～28日(木～金)	日本膜学会	03-3815-2818 (03-3815-2818) membrane@mua.biglobe.ne.jp https://www.maku-jp.org/conference/article/BA19VUwg
第58回安全工学研究発表会(福岡県及びオンライン)	11月27～28日(木～金)	安全工学会	03-6206-2840 (03-6206-2848) jsse-2004@nifty.com https://www.jsse.or.jp/Events/jsse_annualmeeting58
第41回ゼオライト研究発表会(富山県)	11月27～28日(木～金)	一般社団法人日本ゼオライト学会	076-445-6925 atagu@ctg.u-toyama.ac.jp https://jza-online.org/events/
ケミカル マテリアル Japan 2025(東京都)	11月27～28日(木～金)	株式会社化学工業日報社	03-3663-7936 cmj@chemicaldaily.co.jp https://www.chemmate.jp
2025年度粉末冶金基礎講座(京都府ならびにオンライン)	12月1日(月)	粉体粉末冶金協会	075-721-3650 (075-721-3653) info@jspm.or.jp https://www.jspm.or.jp/

2025年度粉末冶金実用講座(京都府ならびにオンライン)	12月2日(火)	粉体粉末冶金協会	075-721-3650 (075-721-3653) info@jspm.or.jp https://www.jspm.or.jp/
第45回レオロジー講座－様々なソフトマターのレオロジー－(オンライン)	12月2～3日 (火～水)	日本レオロジー学会	075-315-8687 (075-315-8688) online@srj.or.jp http://www.srj.or.jp/gyoji
実用表面分析セミナー2025(兵庫県)	12月3日(水)	公益社団法人日本表面真空学会 関西支部	072-781-0081 (072-781-9097) junichi.minato@nsg.com https://www.jvss.jp/chapter/kansai/kansai_jitsuyou26/
第23回 評価・診断に関するシンポジウム(福井県)	12月4～5日 (木～金)	一般社団法人日本機械学会	03-4335-7616 honda@u-fukui.ac.jp, kontomo@u-fukui.ac.jp https://www.jsme.or.jp/event/25-131/
第34回微粒化シンポジウム(東京都)	12月9～10日 (火～水)	日本エネルギー学会	03-3834-6456 (03-3834-6458) takase_jie1921@jie.or.jp https://www.jie.or.jp/publics/index/1052/
第45回 水素エネルギー協会 (HESS) 大会 (ハイブリッド(東京都, オンライン))	12月10～11日 (水～木)	一般社団法人水素エネルギー協会	secretary@hess.jp https://hess01.sakura.ne.jp/3_activity/mo/45annnai_1.pdf
HHPIオンライン技術セミナー「保全本分野へのAI適用」(オンライン)	12月11日(木)	(一社)日本高圧力技術協会	03-3516-2270 tanaka@hpij.org https://www.hpij.org/plugin/databases/detail/19/43/82#frame-43
第63回高分子と水に関する討論会(東京都)	12月12日(金)	公益社団法人高分子学会	03-5540-3770 (03-5540-3737) jigyoo@spsj.or.jp https://member.spsj.or.jp/event/
第12回分散凝集科学技術講座 分散・凝集のすべて(オンライン)	12月16～17日 (火～水)	日本化学会コロイドおよび界面化学部会	03-3292-6161 jigyookikaku_03@colloid.csj.jp https://colloid.csj.jp/202508/2025pt/
第39回数値流体力学シンポジウム(福岡県)	12月16～18日 (火～木)	一般社団法人日本流体力学会	050-1739-6176 ichihara.daisuke142@mail.kyutech.jp http://www2.nagare.or.jp/cfd/cfd39/
第22回ノートパソコンで出来る原子レベルのシミュレーション入門講習会(東京都)	12月17～18日 (水～木)	公益社団法人日本材料学会	075-761-5321 (075-761-5325) jimu@office.jsms.jp https://www.jsms.jp
日本膜学会主催「膜学実験法－人工膜編－」(東京都)	2026年1月15日(木)	日本膜学会	03-3815-2818 (03-3815-2818) jimu@maku-jp.org https://maku-jp.sakura.ne.jp/content/files/seminar/maku-school2025.pdf
第37回高分子ゲル研究討論会(東京都)	2026年1月19～21日(月～水)	高分子学会 高分子ゲル研究会	03-5540-3771 resg1@spsj.or.jp https://member.spsj.or.jp/event/
第42回エネルギーシステム・経済・環境コンファレンス(東京都)	2026年1月27～28日(火～水)	一般社団法人エネルギー・資源学会	06-6446-0537 (06-6446-0559) gyoji@jsr.gr.jp https://www.jsr.gr.jp/
重合工学レクチャーシリーズNo.12「高分子の分解／修復と環境問題」(大阪府／オンライン)	2026年2月4日(水)	近畿化学協会重合工学会部会	06-6441-5531 (06-6443-6685) polymer@kinka.or.jp https://kinka.or.jp/polymerization/saishin.html

第38回 自律分散システム・シンポジウム(静岡県)	2026年2月 18～19日(水～木)	計測自動制御学会 システム・情報部 門	03-3292-0314 (03-3292-3145) das38th@gmail.com https://sites.google.com/sice-das.org/das38th/
ISPlasma2026 / IC-PLANTS2026 第18回先進プラズマ科学 と窒化物及びナノ材料への応用に関する国際シンポジウ ム／第19回プラズマナノ科学技術国際会議(愛知県)	2026年3月 2～6日(月～金)	公益社団法人 応用 物理学会	052-581-3241 (052-581-5585) isplasma2026@intergroup.co.jp https://www.isplasma.jp/index.html
第33回ライフサイクル工学に関する国際生産工学アカデ ミー会議(神奈川県)	2026年3月 11～13日(水～金)	国際生産工学アカ デミー	03-5312-6540 cirplce2026@keio-kanko.co.jp WEB ページは準備中
第43回空気清浄とコンタミネーションコントロール研究 大会(東京都)	2026年4月 21～22日(火～水)	公益社団法人日本 空気清浄協会	03-3665-5591 (03-3665-5593) jaca@jaca-1963.or.jp https://www.jaca-1963.or.jp
SynOre 2026 : The 2nd International Symposium on Iron Ore Agglomerates(富山)	2026年10月 7～10日(水～土)	一般社団法人 日本 鉄鋼協会	076-461-7028 synore2026@pcojapan.jp https://smartconf.jp/content/SynOre-2026/
19th International Symposium on Material-Hydrogen Systems (宮城県)	2026年10月 25～30日(日～金)	材料－水素系国際 シンポジウム国内 運営委員会	022-217-6375 (022-217-5129) yuko.kawata.c4@tohoku.ac.jp https://mh2026.jp/
【Lead-Zinc 2026】11th International Symposium on Lead and Zinc Processing(宮城県)	2026年11月 1～6日(日～金)	一般社団法人資 源・素材学会	03-3402-0541 lead-zinc2026@mmij.or.jp https://j-lppf2.jp/lead-zinc2026/
第10回国際窒素会議(京都府)	2026年11月 2～6日(月～金)	国際窒素イニシア ティブ, 第10回国 際窒素会議組織委 員会, 総合地球環 境学研究所, 日本 学術会議(予定)	075-707-2325 (075-707-2508) kentaroh@chikyu.ac.jp https://n2026.org/

第91年会 開催案内

「一般研究発表」講演募集 「シンポジウム」企画募集

会 場：京都大学 吉田キャンパス(〒606-8501 京都府京都市左京区吉田本町)
(一部ライブ配信併用の予定)

会 期：2026年3月17日(火)～3月19日(木)

講演申込期間：2025年11月4日(火)～12月22日(月)23:59
大会Webサイトからの申込に限ります。

講演要旨原稿提出期間：2026年1月5日(月)～2月17日(火)23:59 必着
講演要旨原稿は、大会Webサイトからの電子ファイル(PDF)での提出に限ります。
一般講演、招待講演とも、締切日までに提出されない場合には、その講演の要旨は大会Webサイトならびに講演要旨集に掲載いたしません。締切日以降、講演要旨原稿の訂正は一切できません。

大会 Web サイト URL：<https://www4.scej.org/meeting/91a/>

化学工学会第91年会は、2026年3月17日(火)～19日(木)の3日間、京都大学吉田キャンパスにおいて開催されます。(一部ライブ配信併用の予定です。今回の年会では、一般研究発表に加え、産業セッション、シンポジウム「化学産業技術フォーラム」、国際シンポジウム(英語セッション)を行います。その他のシンポジウムも企画中です。多数のご参加、講演申込をお願いいたします。

講演申込は大会Webサイトからのみ受け付けます。大会Webサイトでの説明に従ってください。講演申込締切後の変更、訂正は一切できませんので、ご注意ください。

講演要旨原稿は、電子ファイル(後述)として作成してください。講演要旨原稿が締切日までに提出されない場合には、その講演の要旨は大会Webサイトならびに講演要旨集(別売り)に掲載いたしませんので予めご了承下さい。(ここに掲載されている諸事項は変更される場合があります。最新情報は大会Webサイトをご確認ください。)

注意点

○インターネット配信・オンライン参加について
本大会ではオンサイト開催を基本とし、一部ライブ配信併用で実施する予定です。したがって、オンライン参加はライブ配信対象講演に限られます。ご注意ください。

なお、ライブ配信対象講演については自動公衆送信とみなされますので、発表内容に他人(共同研究先を含みます)の著作物が含まれる場合、発表者の責任でそのことを含めた許諾を得る必要があります。

なお、オンライン参加・オンサイト参加に係らず一切の録音・録画・撮影を禁じます。

○講演発表申込時の発表者事前了解について
必ず、発表者(連名)全員の事前了解を得てください。
申込フォームにこれに該当するチェック項目がありますので、ご注意ください。

○化学工学会資格(※)保有有無について
発表者の化学工学会資格保有状況が入力項目となっています。保有されている化学工学会資格をここに入力いただいた場合、プログラム集にもその旨掲載されます。また、該当者のポスター発表については、ポスターに保有資格を示す印を付与します。必須入力項目ではありませんが、資格を持っておられる方は是非ご協力ください。

ださい。
(※上席化学工学技士、化学工学技士、化学工学技士(基礎)、化学工学修習士。保有している最上位資格を入力するようになっています。)

また、口頭発表時投影資料、ポスター等に発表者名を記載される場合も、保有資格を是非ご記載ください。

○口頭発表時投影資料、ポスター掲示資料の使用言語について

学術発表の口頭発表時投影資料は、英語表記を強く推奨しています。学術発表のポスター掲示資料は、原則として英語表記とします。

講演申込について

○申込資格

1) 講演の申込者および登壇者は、下記の方に限ります。

化学工学会

名誉会員

正会員(シニア会員、永年会員を含む)

学生会員(ジュニア会員を除く；ただし、修士課程以下の学生はポスター発表のみ)

教育会員

海外会員(海外正会員、海外連携会員、海外学生会員)

法人会員(維持会員、特別会員(特別地区会員を含む))に属する社員)

共催学会の個人会員

特別講演者および招待講演者、依頼講演者
AICHE：米国化学工学会、CIESC：中国化学工学会、CSCHE：カナダ化学工学会、DECHEMA：ドイツ化学工学バイオ学会、IChE：インド化学工学会、KICHe：韓国化学工学会、PICHe：フィリピン化学工学会、TWICHe：台湾化学工程學會(略語名称アルファベット順)の個人会員

上記に該当しない登壇予定者は、至急、入会手続きをお願いします。本会への入会手続きと問い合わせは、化学工学会Webサイト(<https://www.scej.org/>)をご参照下さい。

2) 講演内容は未発表のものに限ります。

3) なお、シンポジウム「化学産業技術フォーラム」の申込資格、講演内容等の詳細については、後述します。

○申込方法

講演を希望される方は、大会Webサイトからお申し込み下さい。講演申込期間は、2025年11月4日(火)から12月22日(火)です。大会Webサ

イトからの申し込みに限ります。なお、講演申込締切日以降の講演題目、発表者の変更および訂正などは、一切受け付けませんのでご了承ください。

講演申込が正しく受理された場合には、受理番号が記載された「受理通知」がE-mailで返送されます。この受理番号と、申込時にご自身にて入力いただいたパスワードは、問い合わせや講演要旨原稿の提出(アップロード)の際に必要となりますので、大切に保管してください。受理した講演申込は、受理から約15分以内に、その一覧(受理番号、講演題目、発表者、キーワード)を大会Webサイトに掲載しますので、受理の確認にお使い下さい。

なお、講演プログラムの編成上、申し込み時にご希望いただいた講演分類を変更させていただく場合がありますが、その振り分けは実行委員会に一任下さい。

○申込時の注意事項

*講演申込期間以外は受理できません。

*JISコードのない日本語文字は使用しないでください。特に、丸数字や組み文字などの機種依存文字は使用しないでください。

*講演申込一件分をひとつずつ送信してください。

*二重送信は絶対にしないで下さい。

*申込内容に不備がある場合にはその内容が送信されず、不備項目が表示されます。元のフォームを訂正して再度送信して下さい。申込が受理された場合には、指定されたE-mailアドレス宛(申込者、研究グループ代表者)に受理番号を記載した受理通知が送られます。

*申込完了から24時間以内に受理通知が届かない場合は、下記の問い合わせ先にE-mailで、申込送信日と講演題目をお知らせ下さい。

*プログラム編成において、登壇者と研究グループ代表者については同じ時間に複数の講演や座長が重ならないよう配慮します。

*最終日はサーバーが非常に混雑し、申込が出来ない事態の生じることが予測されます。余裕をもってお申し込み下さい。

*大会Webサイトにも注意事項を記載いたしますので、必ずご覧下さい。

○講演分類

申込時には、下記の分類とともにキーワード(英語)を3つ入力して下さい。

○一般研究発表

[1. 基礎物性]

平衡物性・輸送物性、固体物性、薬品の毒性・

引火点, エンジニアリングデータ

[2. 粒子・流体プロセス]

熱物質流体工学, 攪拌・混合操作, 流動層技術, 気泡塔・懸濁気泡塔, 混相流, 粉体プロセス

[3. 熱工学]

熱的単位操作, 燃焼・プラズマ・伝熱, 熱交換器, 各種エネルギーシステム, マイクロおよびバイオテクノロジーへの伝熱・輸送現象の展開

[4. 分離プロセス]

膜工学, 固液分離, 蒸留, 吸収, 吸着・イオン交換, 抽出, 晶析, 乾燥, 特殊分離法

[5. 反応工学]

触媒反応工学, ソノプロセス, 活性種化学, 反応分離, 反応装置, マイクロ化学プロセス, CVD・ドライプロセス

[6. システム・情報・シミュレーション]

プラントオペレーション, プロセスエンジニアリング, プロセスダイナミクス応用, プロセス制御, 最適化手法, 情報処理技術

[7. バイオ]

生物プロセス, 生体反応, 生物分離, 遺伝子, メディカル, 生物情報, 環境生物, 食料・食品

[8. 超臨界流体]

単位操作, 基礎物性, 分離・抽出, 反応・物質変換, 材料創製・製造, 環境負荷低減プロセス

[9. エネルギー]

エネルギー開発, 蓄熱・増熱・熱輸送技術, 炭素系資源利用, 熱エネルギー利用, 新エネルギー・エネルギーシステム

[10. 安全]

リスクコミュニケーション方法, オペレーション設計法, 安全設計, 変更管理, 安全性評価手法, 安全技術伝承, 少人化・無人化問題, 物質安全

[11. エレクトロニクス]

電気化学プロセス (電池, めっき, 等), 電子材料プロセス (半導体製造, 電子回路製造, 等), 微細加工技術 (エッチング, 薄膜形成, 等), 高信頼性設計 (高放熱, 短絡現象, 等), インターコネクション技術 (接着, 接合, 等), 環境持続可能技術

[12. 材料・界面]

界面制御, エマルション, 機能性微粒子, ナノ粒子, ゲルテクノロジー, マイクロカプセル, 晶析, 塗布技術, 微細構造形成・複雑分子集合体, 機能化高分子素材, 材料プロセッシング, 材料レオロジー

[13. 環境]

水環境プロセス, 排水処理技術, 化学物質のリスク・管理, 循環型社会設計手法, リサイクル技術, 地球環境, CO₂問題, 地球全体の炭素循環

[14. 広領域]

テクノロジーマネジメント, 経済評価・市場調査, 教育, JABEE, その他

講演要旨原稿について

○作成・提出方法

講演要旨原稿の提出期間は, 2026年1月5日(月)から2月17日(火)23:59までです。作成した講演要旨原稿をPDFファイルに変換し, 大会Webサイトから提出(アップロード)して下さい。郵送, FAX, E-mailによる提出は受け付けません。講演題目や発表者名(連名発表者全員)が申込時のそれらと異ならないように注意して下さい。異なっている場合はプログラム(大会webサイト, 講演要旨集, 冊子)に反映されないことがあります。

大会Webサイトに, 標準的な書式ファイル(Microsoft Word ファイル)を掲載します。ご

利用ください。

- 講演要旨原稿はA4縦置きで作成し, PDFファイルで提出(アップロード)して下さい。大会Webサイトではカラーで掲載されます。
- 原稿枚数は図表を含めて講演1件に対して1枚(1ページ)です。ただし, 20分を超える講演は2枚(2ページ)です。
- 原稿1ページの書式は以下を基準とします。全体体裁: 2段組み, 24×49行×2段=2352字, 段間の間隔6mm
マージン: 上23mm, 下23mm, 左19mm, 右19mm
字数, 行数は多少変動しても構いませんが, 横172mm, 縦251mmの中に全内容を納めて下さい。
- 原稿紙面の左上部は講演番号記載のため, 左マージンから31mm(9文字分), 上マージンから21mm(4行分)を空白にしておいて下さい。
- 講演題目は, 1行目の左マージンから31mm(9文字分)空けて, 本文より大きく書いて下さい。
- 研究者氏名を「(所属略称)(会員資格・保有している取得化学工学会資格)氏名」の順に, 3行目から右に寄せて書いて下さい。所属名は略称を記入して下さい。会員資格は, 正会員は(正), 学生会員は(学), 法人会員に属する社員は(法), 海外(正・連携・学生)会員は(海), 部会のみ会員(部会個人賛助会員, 部会法人賛助会員に属する社員)は(部)と記し, その他の場合は書かないで下さい。保有している化学工学会資格は7)を参照してください。連名の場合は, 登壇者の会員資格の前に○印をつけて下さい。また, 後日, 講演内容について質問を受けていただける方の右上に*印をつけて下さい。
(例) (京大工)○(正・技士)化工 一郎*・(学)京 花子・吉田 太郎
- 発表者の保有している化学工学会資格は, 最上位のものを以下の略称で記してください。化学工学修習士: 修習, 化学工学技士(基礎): 技基, 化学工学技士: 技士, 首席化学工学技士: 上技。
(例) (正), (正・技基), (学・修習), (法・上技)等
- 本文は5行目左欄から書いて下さい。ただし, 2ページ原稿の場合, 2ページ目は1行目から書いて下さい。
- 原稿の右下に脚注として*印をつけ, 6)で説明した後日の連絡のためのE-mailアドレスを記載して下さい。

<PDF ファイルに関する注意点>

- ファイルサイズは1229 kB以下にして下さい。
- セキュリティ設定は「なし」にして下さい。
- 「全てのフォントの埋め込み」を行って下さい。
- PDF ファイル作成後, 図表のレイアウト等の体裁を, 必ずご自身にて確認のうえ提出(アップロード)してください。
- PDF ファイルの提出(アップロード)には, 受理番号と講演申込時にご入力いただいたパスワードが必要です。受理番号は, 大会Webサイトの「受理済み申込一覧」でご確認いただけます。パスワードを忘れた場合は, 原稿提出画面の「パスワードが分からない方はこちら」から確認いただけます(受理通知が再送されます)。
- 締切日までの間は, 何回でも「提出(アップロード)」を行うことができ, PDF ファイルの差し替えが可能です。締切日後は, 提出や訂正は一切できません。

<講演要旨原稿提出時の注意事項>

- * 締切日までに提出されなかった講演要旨原稿は, 一般講演, 招待講演, 依頼講演ともに, 大会Webサイトならびに講演要旨集(別売り)に掲載いたしません。
- * 締切日後の講演要旨の提出や訂正は, 一切受け付けません。

○審査

講演要旨原稿について, 書き方の体裁など簡単な審査を行います。規定に従っていない場合, 受理しないことがあります。

○化学工学会 電子図書館での事後公開について
化学工学会では, 化学工学会Webサイト(会員専用ページ)の「電子図書館」にて, 講演要旨の事後公開を行います。要旨の作成に際しては十分に内容をチェックしていただくようお願い申し上げます。

発表方法(一般研究発表)について

発表方法の詳細については大会Webサイトに掲載致します。必ずご確認ください。

特許上の新規性の保護について

特許法第30条第2項の規定により, 特許を受ける権利を有する者が本会が主催する大会において公表した講演要旨並びに講演発表内容は, 特許法により規定された所定の手続きを経ることによって, 公表後1年以内であれば, 該公表によってその発明の新規性が喪失しないものとして取り扱われます。この場合, 本会による, 公表ないし発表がなされたことを証明する文書, が必要になる場合があります。詳細については, 本会Webサイト(<https://www.scej.org/inquiry/intellectual-property.html>)をご確認ください。また, 第91年会の講演要旨公表日は2026年3月3日(火)です。

危機管理対応

危機管理規程による危機への対応を事前に参加者に告知する予定です。

「産業セッション」

第80年会(2015年)より継続して開催している「産業セッション」を本大会でも実施いたします。産業界出身の委員によってテーマ設定された複数の口頭セッション, ポスターセッションから構成されます。今, 産業界の関心事は何なのか, 何を考えどう対応しようとしているのか, 最新の情報をお届けします。是非ご参加ください。
開催日等詳細については大会Webサイトをご覧ください。尚, 発表テーマは公募していませんが, 発表ご希望の方は産業セッション事務局までお問い合わせください。

シンポジウム「化学産業技術フォーラム」

本フォーラムで発表いただくことにより, 発表企業にとって技術や製品の宣伝のみならずその存在感を示すことでビジネスへの発展が大いに期待できます。また企業イメージを学生に具体的にかつ積極的に発信することができます。是非積極的にご発表ください。

なお, シンポジウムの一部についてはテーマの公募を行います。詳細は大会Webサイトをご

ご覧ください。

○参加・発表

「化学産業技術フォーラム」への参加・発表には、年会への参加登録が必要です（追加料金不要）。

○講演申込資格

年会要領に準じます。ただし、学生の発表はできません。

○講演の内容

- ・特許化したもの、企業化したもの、新聞発表したものも可とします。
- ・企業戦略、知的財産戦略などの関連から、「物質A、B、C」などによる発表も可とします。

○講演募集セッション、講演申込方法および締切、講演要旨原稿の作成要領、講演要領、等、詳細については大会Webサイトにてご確認ください。

国際シンポジウム | 英語セッション

全講演は英語で実施されるシンポジウムです。アジア国際賞受賞記念講演を含むセッションも予定されています。なお、すべての国際シンポジウムは年会内のセッションであるとともに、併催する国際会議International Chemical Engineering Symposiaの一部となります。

国際会議「International Chemical Engineering Symposia」

年会に合わせ、国際会議 International Chemical Engineering Symposiaが併催されます。年会での国際シンポジウムはこの国際会議の一部となります。一般講演も募集します。詳細については学会ホームページ等を通じて後日お知らせいたします。

問合せ先

化学工学会第91年会実行委員会
E-mail: inquiry-91a@www4.scej.org

第91年会 冠シンポジウム、セッションスポンサー、Webバナー広告、ブース展示、お昼休みセミナー募集

第91年会概要

会期 2026年3月17日(火)～3月19日(木)
会場 京都大学 吉田キャンパス
(〒606-8501 京都府京都市左京区吉田本町)
(一部ライブ配信併用の予定)
見込み参加者 2,000名以上
内容 研究講演・シンポジウム等
参加対象 化学工学を中心とした化学系学科の教員・学生、化学系および関連学会の研究者・技術者
URL <https://www4.scej.org/meeting/91a/>

SCEJ冠シンポジウム

各企業等の化学工学に関連・連携する技術や将来ビジョンを発表いただく機会として、企業等の名前でセッションを開く、企業冠シンポジウムを実施いただけます。ご希望により大会会場からの双方向ライブ配信を利用したハイブリッド実施も可能です。この場合、ライブ配信機材および操作係は本会でご準備いたします。さらにご希望により、本大会参加登録者以外も当該シンポジウムに限り参加可能としていただくこともできます。

企業が学会員に知って欲しい技術や将来ビジョンなどに関する2時間から半日程度のシンポジウムとし、シンポジウム内容およびオーガナイザー、講演者は、応募企業で自由に選定いただけます。化学工学会年会のシンポジウムとしての実施であり、貴社からの講師だけでなく、内容に関連する学や官からの講師も合わせ、シンポジウムを運営いただければ幸いです。

申込期限 2025年12月26日(金)

セッションスポンサー

本大会では、セッションスポンサーを募集いたします。スポンサー料は1口10万円(税抜)からお申し込みが出来ます。セッションによっては、最低お申込口数を設けている場合もございますので、詳細は大会Webサイトをご覧ください。

【セッションスポンサーの特典】

・口数に応じて、応募企業様の社員で定められた人数まで無料で大会参加登録いただける

他、講演プログラム等にてスポンサー様名を表示するなど、様々な特典がございます。
※詳細は大会Webサイトをご覧ください。

【備考】

- ・応募は本会法人会員(維持会員、特別会員、特別地区会員)に限りします。
- ・希望セッション(シンポジウム)は先着順となります。

申込期限 2026年2月10日(火)

Webバナー広告掲載

媒体 化学工学会第91年会webサイト (<https://www4.scej.org/meeting/91a/>)

バナーサイズ 下記のようにサイズを設定します。

左右 240×天地 92ピクセル(以下)
ファイル形式 GIF、PNGまたはJPEG
リンク設定 掲載のバナー広告から貴社へのリンクを設定します

掲載期間 申込受付後、第91年会webサイト公開終了まで(大会終了後もしばらく公開を続けます；公開終了は化学工学会にて決定します)
申込およびファイル送付期限 2025年2月28日(土)(スペースに限りがありますのでお早めにお申し込み願います)

○webバナー広告料金[税別]*1*2

	バナー
化学工学会会員 (原則として法人会員に限りします)	60,000円
化学工学会会員外 (原則として法人に限りします)	120,000円

- *1 1枠あたりの料金です。
- *2 広告主様にて掲載用画像ファイルを制作いただく場合の料金です。それ以外の場合は別料金が発生する場合がありますので、別途お問い合わせください。

ブース展示

大会会場(京都大学吉田キャンパス)内にて

ブース展示を実施予定です。詳細は大会Webサイトまたは12月号会告をご覧ください。

申込期限 2026年1月31日(土)(スペースに限りがありますのでお早めにお申し込み願います)

SCEJお昼休みセミナー

大会期間中の昼休みを利用してセミナーを実施いただけます。ご希望により、本大会参加登録者以外も当該セミナーに限り参加可能としていただくこともできます。

申込期限 2026年1月31日(土)

申込方法

大会webサイトのフォームよりお申込みください。

料金支払方法

口座振込にてお支払い頂きます。振込口座等は申込受付後に実行委員会よりお知らせ致します。

注意事項

■掲載の取消し

掲載申込の受付後は、本会が不可抗力と認めたものの以外の掲載取消しはできません。したがって、広告料金の返却は致しません。原稿送付期限に遅れて送付された原稿は掲載できません。この場合、本会が不可抗力と認めたものの以外の広告料金は返却致しません。掲載申込の受付後でも掲載内容に問題があると本会が判断した場合には掲載をお断りすることがあります。この場合、広告料金は返却します。

問合せ先

化学工学会第91年会実行委員会
E-mail: inquiry-91a@www4.scej.org

第28回化学工学会学生発表会 要項

主催 公益社団法人化学工学会

共催 同 北海道支部、東北支部、関東支部、東海支部、関西支部、中国四国支部、九州支部、人材育成センター

発表申込期限：2025年12月5日(金)17:00

要旨提出期限：2026年2月6日(金)17:00

事前参加登録期限：2026年2月13日(金)17:00

開催日：2026年3月7日(土)

趣旨 若者の理科への興味を引き出し伸ばし、優れた研究者・技術者を育成するためには、暗記に頼らず、若い時から観察、実験、自前の考察をもとに発表と討議できる機会が必要です。年会など学会の研究発表では光の当てにくい大学4年生までと高専生（専攻科生含む）および高校生を対象とします。それぞれの立場に応じて実験・研究を行い、それらをまとめて発表する機会を提供することにより、有為の人材育成に資することを目的としています。

日時 2026年3月7日(土) 9:30～16:00(時間帯は多少前後する場合があります。)

会場 遠隔会議システムを用いたオンライン開催

応募資格 発表者または連名者のうち少なくとも1名は化学工学会の会員であること。また高校生の発表においては、必ずPI (Principal Investigator: 研究責任者) として高校教員が発表者とともに名を連ね、当該教員は当日もご参加ください。ただし、高校生および高専生(1～3年生)の発表の場合は、発表者および連名者の生徒・高校教員の会員有資格は問いません。

内容 化学工学、エネルギー、資源、バイオテクノロジー、物理化学、有機化学、無機化学、計算化学

特別企画(予定) 決まり次第、大会ホームページに掲載します。

発表者(登壇者) 大学生(1～4年生)、高専生(本科生、専攻科生)、高校生。

ただし、登壇予定者が当日都合により欠席

の場合、連名者に代行していただきます。

発表形式 口頭発表(詳細は大会ホームページをご参照ください。ポスター発表はありません。)

発表時間 12分(発表7分、質疑応答4分、交代&紹介1分)

発表申込 大会ホームページからお申し込みください。発表者(連名)全員の事前了解を必ず得てください。申込の際にこれに該当するチェック項目がありますので、ご注意ください。なお、発表申込とは別に参加登録申込も必要です。

発表申込締切 2025年12月5日(金) 17:00まで(厳守願います。)

発表要旨 A4版2段組1枚(詳細は大会ホームページ等をご参照ください。)

要旨提出締切 2026年2月6日(金)17:00まで(提出後の修正・差替はできません。)

参加登録 大会ホームページからお申し込みください。

早期参加登録締切 2026年2月13日(金)17:00まで(締切以降は通常の参加費となります。)

参加費

一般 早期4,000円(通常6,000円)、
大学生 早期2,000円(通常4,000円)、
高専生(4年生以降) 早期1,500円(通常3,000円)、
高校生および高専生(1～3年生) 早期500円(通常1,000円)、
高校教員 早期1,500円(通常2,000円)

なお、高校生と高専生(1～3年生)を対象にした団体割引を行います。但し、10名を超える申込を所定のフォームにて一括してお申し込みされた場合に限られます。その場合の参加

費はそれぞれ以下の通りです。

11～30名の申込に対し、20%引き(早期なら400円、通常なら800円)

31～50名の申込に対し、40%引き(早期なら300円、通常なら600円)

51名以上の申込に対し、60%引き(早期なら200円、通常なら400円)

表彰 審査を行い、優秀賞及び奨励賞として表彰します。(一定の基準を満たした発表に奨励賞を授与します。)

オンライン開催に関する注意事項

全ての発表をインターネット配信します。オンライン参加者は遠隔会議システムの環境準備(カメラ、マイク; PC付属のものでも可; ヘッドセットマイクが望ましい)が必要になります。また、発表内容は自動公衆送信による再送信とみなされますので、他人(共同研究先を含みます)の著作物が含まれる場合、発表者の責任でそのことを含めた許諾を得る必要があります。なお、一切の録音・録画・撮影を禁じます(特別企画のみ本会にて録画します)。

問い合わせ・申込先

第28回化学工学会学生発表会実行委員会
〒112-0006 東京都文京区小日向4-2-8 大樹生命文京小日向ビル4F
公益社団法人化学工学会 人材育成センター「学生発表会」係

E-mail: inquiry-stu28@www4.scej.org (※を半角の@に置き換えてください)

ホームページ: <http://www4.scej.org/meeting/stu28/>

産学官連携センター

～第1回化学技術者のための 産学官フォーラム～ 「CCUSをめぐる最近の政策動向と 技術開発の方向性」

主催 公益社団法人化学工学会 産学官連携センター

協賛(予定) 公益社団法人化学工学会産学官連携センター開発型企業の会、経営システム研究委員会、SCE・Net、グローバルテクノロジー委員会、公益社団法人化学工学会CCUS検討委員会、化学工学会分離プロセス部会、化学工学会各支部、公益社団法人日本化学会、一般社団法人日本機械学会、公益社団法人石油学会、一般社団法人触媒学会、分離技術会、日本膜学会、化学工学会基礎物性部会

化学工学会では現在、社会課題の解決を大きなミッションとして産学が連携し、様々な活動を展開しております。社会課題を解決するためには、いかなる未来を描き、そこで必要な技術を開発し、社会実装に向けてあらゆる角度から検討を重ねていくことが求められております。

そこで産学官連携センターでは、産学官の英知を結集し、ミッションを達成するために「産学官フォーラム」(以下、本フォーラム)を設立することになりました。本フォーラムでは今般、広く注目を集めているCCUSをテーマとして、それに関連する政策と技術開発の現状と課題を理解し、さらには産学官で相互に議論する総合討論を実施します。課題究明の絶好の機会として、各方面でご活躍される皆様の本フォーラムへの積極的なご参加をお待ちしております。

日時 2025年11月12日(水) 13:30～17:30(受付開始: 13:00)

会場 東京理科大学 森戸記念館 第1フォーラム(会場住所)東京都新宿区神楽坂4-2-2

開催形態 オンサイト(現地)とZoomによるオンライン開催
(注) オンライン参加者は聴講のみとなります。あらかじめご了承ください。

プログラム(講演3件、各講演50分)

13:30～13:35 開会の辞

化学工学会 副会長 産学官連携センター長 芳野正氏

13:35～13:40 ファシリテーター紹介

化学工学会CCUS検討委員会委員長 大場茂夫氏

13:40～14:30 ①講演

経済産業省 資源エネルギー庁
資源・燃料部 燃料環境適合利用推進課
(カーボンマネジメント課)講演者調整中
「CCUSに関する取組」

14:30～15:20 ②講演

国立研究開発法人 新エネルギー・
産業技術総合開発機構 布川信氏
「NEDOにおけるカーボンリサイクル/CCS
技術開発の取り組み」

2050年カーボンニュートラル実現に向け、
CO₂排出量の削減に繋がる様々な取り組み
が進められている。本講演では、CO₂を炭
素資源と捉え多様な炭素化合物として再利用
するカーボンリサイクル、CO₂を分離回
収し貯留するCCSなど、NEDOが実施する
CO₂排出削減に向けた技術開発の概要を紹介
する。

15:20～16:10 ③講演 企業

川崎重工株式会社 奥村雄志氏
「川崎重工における燃焼排ガスおよび空気か
らの二酸化炭素回収技術の開発」
二酸化炭素の回収・貯留・有効利用(CCUS)
は、地球温暖化抑制に向けた重要な対策技
術である。川崎重工では、産業分野におけ
るCO₂排出量削減を目的に、火力発電等の
排出源からの燃焼後排ガスに含まれるCO₂
回収と、ネガティブエミッションを実現す
る空気からのCO₂回収の両面に取り組んで
いる。どちらも固体材料を用いたCO₂回収
プロセスの開発を進めており、本講演では、
当社技術の概要と商用化に向けた各種実証
試験の状況について紹介する。

16:10～16:30 休憩 20分

16:30～17:30 総合討論(講師+ファシリテ
ーター) 60分

17:30 閉会の辞

17:45～19:30 講師を囲んだ懇親会

懇親会会場 ルコ(パーティースペース)

<https://intelligent-lobby-ruko.gorp.jp/>
東京理科大学森戸記念館より、徒歩5分
(〒162-0824 東京都新宿区湯島町2-1 軽子坂
MNビル TEL: 050-5493-6695)

参加費(会場ならびにオンライン参加同額、消費
税を含む)

正会員(海外正会員、海外連携会員を含む)
5,500円

法人会員に属する社員(維持会員・全国特別会
員・特別地区会員) 11,000円

協賛団体会員(個人・法人) 16,500円

会員外(個人・法人) 22,000円

懇親会参加費 4,000円

定員(定員になり次第締め切り) 会場60名、オ
ンライン300名

参加申込・送金締切 11月7日(金)

参加申し込み方法 参加申込フォーム([https://app.
payvent.net/embedded_forms/show/687709ad32b8
472695fb7c8e](https://app.payvent.net/embedded_forms/show/687709ad32b8472695fb7c8e))よりお申込みください。

お支払いはPayventを利用してお支払いください。
(Payvent = 学会イベントシステム決済運営会
社:(株)Urbs)

お申し込みと同時に参加費をお支払いいた
だけます。銀行振込みをご選択の場合は、締め
切り日までにご送金下さい。

オンライン参加用Zoom URLは、開催日の2日
前を目途に発信します。

お問い合わせ先

公益社団法人化学工学会 産学官連携センター
〒112-0006 東京都文京区小日向4-2-8 大樹生
命文京小日向ビル4階

事務局 担当 澤田

E-mail: sangakukan@scej.org

2025年度 開発型企業の会 第3回技術交流会・見学会 開催案内

主催 化学工学会 産学官連携センター 開発
型企業の会

日時 2025年11月26日(水)

受付: 13:30、見学・講演会: 14:00～17:15、
懇親会: 17:15～18:45

会場 日本ガイシ株式会社「NGK Collaboration
Square DIVERS」

概要 日本ガイシ株式会社様の「NGK Collaboration
Square DIVERS」は、社内外とのコラボレーシ
ョンを推進し、NGKグループの変革を加速さ
せる挑戦と交流の拠点として、2025年7月15
日にオープンされました。

DIVERSでは、NGKグループのコア技術と
セラミックスの可能性を来場者に訴求し、新
しい発想を促す交流機会を創出します。隣接
する新研究開発棟をはじめとする研究開発と
連携し、アイデアから社会実装に至る新製品
の早期創出の取り組みにつながる共創を目指
します。また、NGKグループの挑戦の歴史や
価値観を従業員間で共有しNGKグループの一
員としての誇りと変革への挑戦マインドを醸

成します。

今回は、DIVERSの見学に加え、日本ガイ
シ株式会社様の独自のセラミック技術につい
てご講演を頂きます。

プログラム

13:30～14:00 受付

14:00～14:10 開発型企業の会 代表幹事挨拶

14:10～14:40 NGK Collaboration Square
DIVERSのご紹介と見学にあたっての連絡
事項

14:40～15:50 DIVERS内施設見学会(複数班に
分かれて見学)

15:50～16:00 休憩

16:00～17:10 ご講演「日本ガイシのカーボン
ニュートラルへの取り組み(仮題)」と質疑応
答

17:10～17:15 閉会挨拶

17:15～18:45 懇親会 構内食堂にて

18:45 現地解散

アクセス

愛知県名古屋市長瑞穂区須田町2-56(日本ガイシ
株式会社様 本社熱田地区内DIVERS)
(ご入場につきましては、直接「DIVERS」へお
越しください)

・名鉄「神宮前駅(東口)」からバス10分(名駅
18系統「雁道」下車)

・「金山駅(北口・南口)」からタクシー5分
「金山駅(北口)」からバス10～15分(金山15
系統「熱田プール」下車、金山14系統または
金山18系統「雁道」下車)

・「鶴舞駅」からタクシー10分またはバス20分
(基幹1系統または名駅18系統「雁道」下車)

・名鉄「神宮前駅」またはJR「熱田駅」よりも一
応徒歩圏

(注) 名鉄 神宮前駅、JR 熱田駅にはタクシー
が常駐していません。

<https://www.ngk.co.jp/info/network/nagoya.html>

参加費 5,000円(領収書をご用意いたします)

定員 30名(定員を超えた場合は、1社当たりの
参加者を調整させて頂く場合があります)

申込締切 11月17日(月)

参加申込 お名前、勤務先、所属部署、連絡先(所
在地、Tel、Fax、E-mail)を2025年度 開発型
企業の会([https://service.kktcs.co.jp/smms2/enquete/
answer/Answer.htm?cmd=new&eid=3qzw1mfqc9
dd7sbl0arpz0v](https://service.kktcs.co.jp/smms2/enquete/answer/Answer.htm?cmd=new&eid=3qzw1mfqc9dd7sbl0arpz0v))でお送りください。

申込先 公益社団法人 化学工学会 開発型企業の
会 事務局 E-mail(kaihatsugata@scej.org)

地 域 C T



東 北 支 部

第71回プロセス設計技術 講演会・見学会ならびに 第59回ケミカル エンジニアリング交流会

日時 2025年11月28日(金)

見学先 ニプロファーマ株式会社 大館工場

講演会会場 ニプロファーマ株式会社 大館工場
内会議室

講演会・見学会

13:00～13:30 講演(1)「ニプロファーマの概要」
ニプロファーマ株式会社 大館工場
大館工場サイトマネージャー 田中優樹氏

13:30～14:30 見学会

14:45～15:45 講演(2)「細胞培養の化学工学
～実験からCAEまで～」

秋田大学大学院理工学研究科
准教授 堀口一樹氏

15:45～16:45 講演(3)「確認中(9/16到着予定)」
鹿角市長 笹本真司氏

17:30～ 意見交換会「あきた味坐(みくら)」

・見学会 : 会員1000円、学生無料、非会員
2000円

・講演会 : 会員1000円、学生無料、非会員
2000円

・意見交換会 : 5000円

* 同業他社の方は参加出来ません

第16回 福島地区CE セミナー プログラム

主催 福島化学工学懇話会

協賛 化学工学会東北支部

日時 2025年(令和7年)12月20日(土)
会場 郡山市市民交流プラザ(ビッグアイ) 大会
議室(郡山市駅前二丁目11番1号)
セミナー参加費 無料
意見交換会 郡山駅近傍予定、12/20夕刻

【プログラム】(見込 ※若干変更の可能性もあり。)
午前 ポスター発表
午後 口頭発表、招聘講演、特別講演等

問い合わせ

福島化学工学懇話会事務局
メール: iwamura@sss.fukushima-u.ac.jp (岩村振一郎)

関西支部

開発型企業連携研究会 セミナー&ミキサーのご案内

主催 化学工学会関西支部 開発型企業連携研究会

日時 2025年12月4日(木)13:30~19:00
会場 大阪科学技術センター 6階600号室(大阪市西区靱本町1-8-4)
＜交通＞Osaka Metro四つ橋線「本町」駅下車28番出口より北へ徒歩5分
http://www.ostec.or.jp/ostec_wp/pdf/printmap.pdf

プログラム

1. セミナー開会挨拶(代表幹事:佐竹マルチミクス)藤原稔康
2. 題目未定(13:35~14:30)
3. 攪拌技術を基盤とした新規事業の紹介(14:30~15:25)(佐竹マルチミクス)西岡寛人
4. 題目未定(15:40~16:35)
5. セミナー閉会挨拶(副代表幹事:住友重機械プロセス機器)竹中克英
6. 情報交換セミナー(17:30~19:30) 於: King of Kings
大阪市北区梅田1-3-1 大阪駅前第1ビルB1F
TEL: 06-6345-3100
<https://tabelog.com/osaka/A2701/A270101/27043454/dtmenu/>
ご質問、意見交換、名刺交換等はこの機会にお願い致します。

申込締切 11月17日(月)

定員 30名

参加費 6,000円(当日お支払いください。領収書をご用意します。)

参加申込方法 フォーム <https://www.kansai-scej.org/form/view.php?id=20200> よりお申込みください。

申込・問合せ (公社)化学工学会関西支部
〒550-0004 大阪市西区靱本町1-8-4
大阪科学技術センタービル6F
E-mail: apply@kansai-scej.org
TEL: 06-6441-5531 FAX: 06-6443-6685

中国四国支部

中国地区化学工学懇話会 2025年度 セミナー 「GXの最前線: 基盤技術の進展とその社会実装」

主催 中国地区化学工学懇話会
共催 広島大学フェニックス協会の

趣旨 エネルギー供給の多様化、資源循環の高度化、プロセスの効率化が急速に求められる現在、グリーントランスフォーメーション(GX)は、持続可能な産業構造への転換を加速する鍵となっています。本セミナーでは、化学工学からの視点も含め、GXに貢献する先進的な取り組みを紹介し、基盤技術の進展とその社会実装を探ります。

日時 2025年11月21日(金)13:00~16:40(講演会)、17:00~18:30(交流会)
会場 TKPガーデンシティ PREMIUM 広島駅前4A(講演会4F)、7B(交流会7F)
(〒732-0821 広島県広島市南区大須賀町13-9)

アクセス 広島駅(南口・在来線口)から徒歩2分
<https://www.kashikaigishitsu.net/facilitys/gcp-hiroshima-ekimae/access/>

定員 100名



プログラム

主催者挨拶(13:00~13:05)
広島大学 大学院先進理工系科学研究科 教授 矢吹彰広氏

〔講演〕

- 1) (13:05~13:55)「カーボンニュートラルに向けたGXビジョンとエネルギー貯蔵技術の展開」

東京科学大学 総合研究院 教授
(ゼロカーボンエネルギー研究所 所長)

加藤 之貴氏

- 2) (13:55~14:25)「SOEC メタネーション技術革新によるカーボンニュートラル化への挑戦」

大阪ガス(株)先端技術研究所

SOEC メタネーション開発室

主任研究員 津田 裕司氏

- 3) (14:25~14:55)「GXに向けた三菱ケミカル MMA 事業のサステナブル技術開発と社会実装への取り組み」

三菱ケミカル(株)モノマー・触媒研究室

MMA グループチームリーダー/主幹研究員

加藤 裕樹氏

＜14:55~15:10 休憩＞

- 4) (15:10~15:50)「題目未定(調整中)」

経済産業省 資源エネルギー庁

資源・燃料部燃料環境適合利用推進課

CCS政策室 室長補佐 渡辺 遙氏

- 5) (15:50~16:40)「広島大学瀬戸内CN国際共同研究センターの紹介」

広島大学 大学院統合生命科学研究科 教授

(瀬戸内CN国際共同研究センター

副センター長) 岡村 好子氏

〔交流会〕17:00~18:30 (TKP ガーデンシティ PREMIUM 広島駅前 カンファレンスルーム 7B (7F))

参加費(消費税10%込み)

会員資格	講演会	交流会
懇話会会員、化学工学会 会員、広島大学フェニッ クス協会の会員	5,000円	5,000円
非会員	10,000円	

申込締切 2025年11月6日(木)

申込方法 申込先フォームサイトでお申込み下さい。

申込先フォームサイト <https://forms.office.com/r/YCms8gfqKG>



参加費のお支払い 当日、講演会場受付において現金にてお支払いください。

(登録番号が記載された領収書をお渡しします。)

問合せ先 〒739-8527 広島市鏡山1-4-1 広島大学工学部化学工学講座内

中国地区化学工学懇話会事務局・担当幹事・

宇敷 育男 E-mail: iushiki@hiroshima-u.ac.jp

部 会 C T

生成AI／ポスト5G時代の
冷却戦略
～サーマル技術が支える
未来の情報社会～

主催 化学工学会エレクトロニクス部会
共催 エレクトロニクス実装学会 サーマルマ
ネージメント研究会

協賛予定 エレクトロニクス実装学会 (JIEP), 日
本電子回路工業会 (JPCA), 表面技術協
会, スマートプロセス学会エレクトロニ
クス生産科学部会 (MSTE), よこはま高度
実装技術コンソーシアム (YJC), NPO法人
サーキットネットワーク (C-NET), IEEE
EPS Japan Chapter, 応用物理学会シリコン
テクノロジー分科会, 電気学会, 電子情報
通信学会, 日本機械学会, 化学工学会熱
工学部会, 自動車技術会, 日本伝熱学会
※協賛予定を含む

日時 2025年12月1日(月)10:00～17:00
講演会終了後, 技術交流会を予定してい
ます。併せてご予約ください。

会場 機械振興会館(東京都港区芝公園3-5-8)と
オンライン(ZOOM)でのハイブリッド開
催。

プログラム タイトル・講演順は暫定です。変

更となる場合があります。

1. エネルギー業界から見たデータセンターの
現状と課題 MESH-X 矢島 健史様
2. (沸騰冷却の原理と応用)
山口東京理科大 結城 和久様
3. (マクロな熱の移動と熱設計)
足利大学 西 剛伺様
4. ナノからマイクロ領域での熱移動と熱物性計
測技術 産総研 八木 貴志様
5. (分子・原子レベルで見た熱制御: 次世代
の熱材料技術) JNC石油化学 藤原 武様
6. フリップチップ・パッケージにおける基板
側からの放熱における取り組み
日本アイ・ビー・エム 松本 圭司様
7. ペーパーチャンバを用いたサーバ用チップ冷
却技術 フジクラ 斎藤 祐士様

定員 会場100名, オンライン300名。申込み順
で, 定員になり次第締め切ります。なお事前
に会場での参加登録がされていない場合, 当
日の会場での聴講をお断りする場合があります。

参加費

- ・化学工学会エレクトロニクス部会 個人会員・
法人会員 5,000円
- ・エレクトロニクス実装学会サーマルマネー
ジメント研究会 会員 5,000円
- ・その他化学工学会会員及び協賛団体各会員

8,000円

- ・大学関係者(教員, 研究員等) ※高専・短大
を含む 5,000円
- ・大学関係者(エレクトロニクス部会員), 学生
(高専・短大を含む) 無料
- ・一般参加者 15,000円(同時に部会入会する場
合は9,000円)

オンライン参加の場合は, 事前に指定口座まで
振り込みをお願いします(カード払いはできませ
ん。領収書・請求書はPDFにてご案内いたしま
す)。会場参加の場合は, 当日現金でのお支払い
となります(領収書を用意します)。技術交流会
ご参加の場合は, 参加費4,000円を別途お支払い
ください。

詳細 <https://scej-ele.org/contents/04.html>

申込み方法 メールまたは上記URLから以下の
内容を明記の上送信ください。〆切り: 11/24
(月)

記載内容 ①氏名, ②勤務先住所(所属部署ま
で), ③メールアドレス, ④聴講方式(会場参
加, またはオンライン参加), ⑤電話番号, ⑥
会員資格(上記参加費欄の区分を記載), ⑦技
術交流会参加有無(会場参加の場合: 参加費
4,000円)

申込みメール送信・問い合わせ エレクトロニク
ス部会 div_electro@scej.org